

# 連絡協議会の事業

富里市青少年相談員連絡協議会は、市内全域の小中学生を対象とした事業を行っています。代表的な事業としては「親子へらぶなつり大会」、「縄引き・ドッジボール大会」、今年度新たに計画した「東京ウォーク」を実施しました。また、市役所のイベント等にも数多く協力しています。

## 親子へらぶなつり大会



今年度で39回となる伝統のある事業です。へらぶなつりを通して親子の交流を深めるとともに、親子で共通の体験することにより、子供たちの豊かな心を育てることを目的に実施しています。毎回100名を超える親子が参加しています。

## 東京ウォーク



市内の小学生がチームを組み東京タワーを階段でのぼりレインボーブリッジを歩いて渡りました。小学生が集団行動を通じて市内の他校の児童と協力しあうことで友情を深め、対人関係能力を身に付ける機会になればと計画しました。子どもたちの思い出に残る催しになりました。

## 縄引き・ドッジボール大会

毎年、体育の日に行われるこの大会も今回で30回を数える伝統ある行事です。市内8小学校区より21チーム・255人の参加があり、「縄引き」と「ドッジボール」各部門でチーム一丸となって熱い戦いを繰り広げ、社会体育館は笑顔と大歓声に包まれました。



## 携帯・スマホに関する講演会を実施しました

近年、青少年のスマホ等の利用が急速に進んでおり、多くの青少年がSNSやオンラインゲーム等を利用する一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用により、青少年が犯罪の被害者や加害者となったり、いじめやプライバシー上の問題など思わぬトラブルに陥るなど、深刻な問題も発生しています。

そのため、青少年相談員が保護者や地域の方を対象に「携帯・スマホを使ったコミュニケーションについて」と題した講演を行いました。

これからは、このような青少年相談員の専門知識を活かした活動も行ななが地域に貢献していくと考えています。



## 一 青少年相談員とは 一

青少年相談員は、千葉県の制度として設けられたもので、千葉県知事と市町村長から任期を3年間として委嘱され、各地区で青少年の健全育成のために活動しています。

相談員は活動を通して、富里市こどもたちが、明るく、元気に育ち、未来の富里市を支える人になってほしいと願っています。



青少相だより

# 青空



## 第19期がスタートしました

平成28年4月10日、富里中央公民館にて第19期青少年相談員の委嘱状交付式が行われ、県知事からの委嘱状とあわせて富里市長並びに教育長から委嘱状の交付を受けました。

相談員46名は子どもたちの笑顔のために活動できるという喜びの一方、青少年の健全育成という任務の重大さに気持ちを引き締めました。



## 第19期のスタートに当たって

富里市青少年相談員連絡協議会  
会長 小幡 健二郎

青少年相談員は青少年健全育成の担い手として千葉県知事と富里市長の委嘱を受け、良き指導者・良き相談相手として青少年に寄り添う存在として活動をしています。

昨今は情報化社会の進展に伴う有害情報の氾濫、少子化・核家族化による家庭教育力の低下など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しています。そのため、現在の子どもたちは「体験」の機会が少ないと言われています。

相談員による各地区での活動や連絡協議会での行事が、テレビやゲームなどバーチャルな楽しさとは違う、生身の人間同士の触れ合いを通じて得られる楽しさを提供できているのではないかと思います。

これからも地域の皆様のご理解、学校のご協力により「子供たちの笑顔」の為に活動を続ける「青少年相談員」を宜しくお願い致します。



